



被災体験から見えてきたこと

社会福祉法人 苗場福祉会
事業部長 小松 順子



苗場福祉会では、3月12日未明発生 of 長野県北部地震により、老人保健施設みさと苑、ケアハウスリバーサイドみさと、グループホームひまわりの3施設が被災致しました。今回の震災において、皆様より、多大なるご支援を頂き本当に感謝いたしております。

この場を借りてお礼申し上げます。

新潟県
NIIGATA

千葉県船橋市

特別養護老人ホームさくら館

アーバンリビング鳥屋野

健康倶楽部たちばな

スマイルホームこたね

健康倶楽部中子の森

スマイルハウスつなん

健康倶楽部かわぐち

クアハウス津南

健康倶楽部十日町

介護老人保健施設
みさと苑

特別養護老人ホーム
こころの杜

軽費老人ホーム
リバーサイドみさと

健康倶楽部ゆざわ

グループホームひまわり



3月12日 3:59

震度6強の地震に襲われる



被災状況

水浸しの居室



天井から落ちた空調の吹き出し口





被災状況

スプリンクラーの周りの天井は殆ど穴が空いた。



厨房の吸気口のダクトが天井ごと落下





被災状況

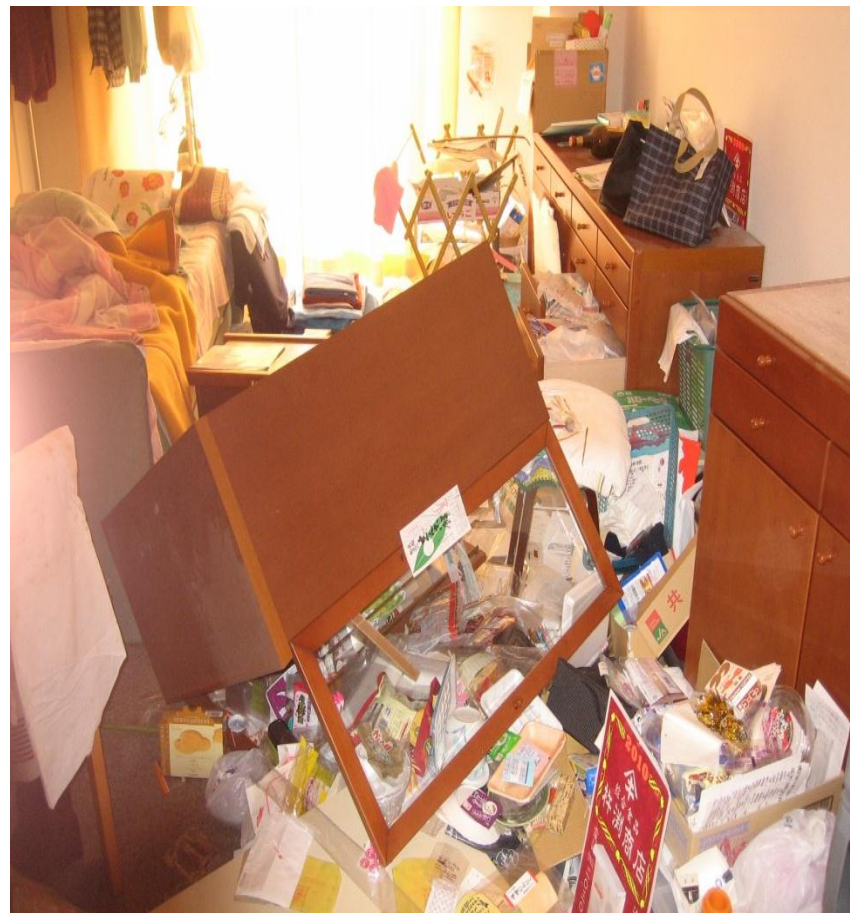
錆色の水が天井から壁を伝った



床も錆色の水で染まった

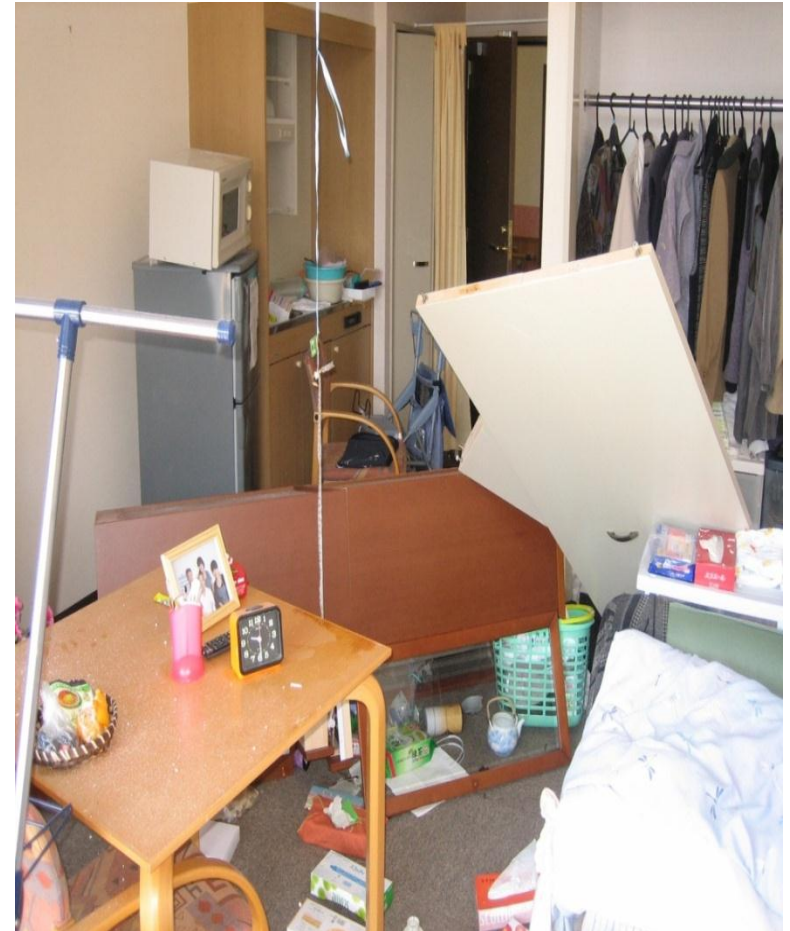


居室内家具が散乱





個々の居室



ケアハウスの貯湯槽





当日の避難状況





震災時の受け入れ状況

「3月12日長野県北部地震発生」

●171名を避難

法人内に97名をそれぞれの施設で受け入れ
他の方は他法人や医療機関へ
近隣機関と連携を取り
昼食後より避難開始
午後5時には終了



受け入れの具体的方法

- ・ 行政へ緊急受け入れの報告
- ・ 協力医療機関への協力依頼
- ・ 近隣施設への協力依頼
- ・ 福祉業者へのベット搬入依頼
- ・ 受け入れスペース確保
- ・ 非常食の確認
- ・ ボランティア要請





東日本大震災への後方支援 物流中間地点のとしての役割





トラックからの搬送





各地からの支援物資の伝票とはげましの手紙





被災者を受入れて学んだこと

～命をつなぐ～

- 横断的連携、情報共有の徹底
- 強いリーダーシップ
- チームとしての
団結力！



新潟・福島豪雨



水害も体験して

7月30日未明健康倶楽部かわぐち浸水





1, 3m冠水の施設





キュービクルが完全に水没



水が引けた中の状況





被災経験を生かしたリスク回避

- ・ 人命優先の判断からぶれないこと
- ・ 避難所としての役割発揮は備蓄品の準備から
- ・ ネットワークの構築！（簡単ではない）
- ・ 緊急連絡網、避難訓練は活きているか
- ・ 緊急持ち出し品のリストの作成
- ・ 職員も被災者、当たり前前気持ちを受け止めよう
- ・ 最後は体力！食べる時は食べる、休む時は休む

命を守る仕事だから



人との繋がりを大切にする